

# 各世代に聞いてみた。「私が暮らしたい六角地区」

第2回六角地区地域づくり住民参加ワークショップより

10～20代



このまま大事にしたい

- ・家族で参加できる行事がある
- ・小学校でしている農業体験

ちょっと気になる、心配

- ・地域への溶け込み方がわからないし、上下のつながりがないかも

平和で静か。  
そして自然がある六角

50代



このまま大事にしたい

- ・地域の安全を地域で守る
- ・仲間意識をつくる三夜待、六夜待

ちょっと気になる、心配

- ・子ども達との接点がなく、どこの家の子なのか分からなくなった

地域活動はお互いが  
知り合うこと

世代ごとにそれぞれ大事にしたいことがあるね

災害時の避難をどうしていくのか、  
各世代ともに持つ課題

同じ世代で話してみると「世代ごとのつながりはあるけれど、世代間でのつながりは薄いと感じている」と、いつもなら見えないことも見えてきました。

このまま大事にしたい

- ・通学路の見守りをしてもらえるのは、とてもありがたい
- ・顔の見えるお付き合いができるし、子どものことも助け合えるところ

ちょっと気になる、心配

- ・地域の役割当番となっても、家も名前も場所もわからずに困る
- ・信号機のない交差点が多く、事故が起きないように常に気にしている
- ・避難所の数が少ない

自然があって、子どもが  
のびのびと育つ



このまま大事にしたい

- ・共助で地域の安全と見守りをする
- ・六角の歴史と文化や祭りを続けること

ちょっと気になる、心配

- ・世代間で消防団活動に意識の差がある
- ・水害時にリアル情報がほしい
- ・地域の伝統文化を知る機会が少ない

30～40代



地域の「中間管理職」

女性グループ

このまま大事にしたい

- ・町のことや景観を伝えていきたい、残していきたい

ちょっと気になる、心配

- ・避難所が遠かったり、移動も心配。早めの救助があればいいのに

60～70代



知っていることを伝える、  
教える役割

ゾーン30が守られていない現状は地区全体の心配事

令和3年12月12日、第2回六角地区地域づくり住民参加ワークショップ」を白石町総合センター多目的ホールで開催。世代ごとに12のグループに分かれ、私が暮らしたい六角地区」をつくるために、大事にしたいこと、ちょっと気になること、改善案を話し合いました。

もちろん、今回も進行役は地域のみなさん。グループワークがスタートするとすぐにみんな同じような歳なんで、ざっくばらんに話している「お母さん目線で見るとね……」自分達の経験や知見をどうやって次世代に伝えていけるのかと、思うことが最近あるよ」などの声も飛び交いました。

10代から20代の新世代グループからは、普段、あまり出会うことのない世代の方とこんな話ができるのだと感じた。少子化の今だからこそ、新世代はどの世代の人とも絡んでいかなくてはいけないのだと思った。

という感想が出ました。また、40代から50代は自分達を地域の中の中間管理職と名づけ、世代間の橋渡しや地域のコミュニケーションをつくる立場にあると感じていることなど、同世代の本音トークをお互いに聞くことができたワークショップになりました。